

史跡公園(さいくう平安の杜等)の整備

(三重県明和町)

古代～中世にわたって、伊勢神宮の天照大神に仕えた皇女の宮殿や役所からなる「斎宮」(さいくう)の旧跡地は、住民により神聖な土地として保存されてきた。

昭和54年の国史跡「斎宮跡」への指定以降、「斎王の森」周辺整備や、博物館・体験館の開館など、広大な史跡の中で様々な事業が実施されてきた。

平成24年の歴史まちづくり計画の認定後には文化庁の補助を活用し、最盛期の建物を実物大に再現する「さいくう平安の杜」を整備するとともに、その隣接地に国土交通省の補助を活用して休憩所や多目的広場、いつきのみや地域交流センター等を整備(下園東区画広場)している。



整備状況の全景



「さいくう平安の杜」左から西脇殿、正殿、東脇殿



「斎王まつり」の様子



多目的広場



いつきのみや地域センター

いつきのみや地域センターから見た
さいくう平安の杜

【事業に関する情報】

<さいくう平安の杜(史跡東部整備事業)>
・文化庁補助事業を活用し、3棟の建物を再現整備。
<下園東区画広場>
・国土交通省補助事業を活用し、公園維持管理施設を再整備し、来訪者受け入れのための休憩所や広場、便益施設(いつきのみや地域交流センター)を整備。
・点在する歴史的資源をつなぐために、誘導案内板、標識等を設置した。

【事業関連データ】(計画認定:平成24年)

事業名 史跡東部整備事業(柳原区画) 史跡公園(下園東区画広場) 整備事業
事業実施重点区域名 斎宮跡周辺地区
事業主体 <さいくう平安の杜> 三重県 <下園東区画広場> 明和町
事業期間 <さいくう平安の杜>平成23～27年度 <下園東区画広場>平成27～30年度

活用した補助金

<さいくう平安の杜>文化庁補助事業
<下園東区画広場>
国土交通省
・社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)
・歴史的風致国際観光支援事業

事業の実施に伴う土地・建物の取得

<さいくう平安の杜>土地:取得(購入)(26,600㎡)
<下園東区画広場>土地:取得(購入)(1,069㎡)

文化財等の指定状況

・斎宮跡:国史跡

【有識者からのコメント】

史跡公園は、遺構を守り、歴史に対する理解を促す使命を有しており、この点で一般の公園と異なる。歴史まちづくり計画の評価書によれば、文化庁補助事業により斎宮寮の正殿・東西脇殿、幅15mの区画道路、幅7mの古代伊勢道が復元されたことで、住民の関心が高まり、保存会的な集まりも生まれた。合わせて斎宮跡の隣接地では、国土交通省支援事業により土地が取得され、多目的広場が整備された。また、ガイダンスや休憩、地域活動拠点の機能を担い、史跡公園だけでは担いきれない交流や学びを補完する地域交流センターも整備された。文化財保護と都市公園整備の適切な分業の好例と思われる。(下間)